

# JFEシビル

## 売上高1000億円への挑戦

JFEシビルは、2015年度を始期とする3カ年の中期経営計画を策定。現状の4割増となる連結売上高1千億円、経常利益50億円と意欲的な目標を掲げた。事業の現状と展望を藤井善英社長に聞いた。

(村上倫)

「14年度を振り返って、14年度の建築事業は、当初計画を12億9千万円上回る売上高284億9千万円、経常利益26億2千万円を達成した。また、14年度は売上高715億円、経常利益35億円と大幅に超過達成できた。受注も14年度は前年度比約3割増の810億円と好調で、15年度は850億円規模となりそうだ」

「収益が大幅に伸びた要因は、」

「建築事業の伸びが最大の要因だ。環境にも恵まれたが、大型物流施設の特命案件が増加し成約率が高まっている。継続的に取引している。V E使用が全面的に禁止される提案を認めてもらえるメリ

### 藤井 善英社長に聞く



3拠点体制でシステム建築 新技術活用システム(N E)の実行部隊としての機能も持たせる。これまでシステム建築は材料販売が多かったが、建設もしっかり行うことでのシステム建築事業とJFEコンフォームの双方の売り上げ増と技術改善につなげたい」

## 新工法、早期に事業化

### 他社との連携も視野

「また、プラントエンジニアリング企業の設備受注に伴う建築建設の需要も着実に捕捉していきたい」

「商業施設の受注が伸びているが、こちらでもエンジニア系の受注を目指したい。建物の規模によってシステム建築を選択できることは

## 100人増員「特色あるゼネコン」目指す

「さらに重要継続顧客を増やすことで収益の安定化につなげていく。技術面では、倉庫を中心とした免震技術に磨きをかけて」とも「BIM」(ビルディング・インフォメーション・モデリング)の導入を確実に進め、事業効率化を図りたい」